

設計住宅性能評価申請書

株式会社評価審査機構 殿

申請者の氏名又は名称

代表者の氏名

住宅の品質確保の促進等に関する法律第5条第1項の規定に基づき、設計住宅性能評価を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

※受付欄	※手数料欄
年 月 日	
第 号	
申請受理者印	

申請者等の概要

【1. 申請者】

【氏名又は名称のフリガナ】

【氏名又は名称】

【郵便番号】

【住 所】

【電話番号】

【2. 代理者】

【氏名又は名称のフリガナ】

【氏名又は名称】

【郵便番号】

【住 所】

【電話番号】

【3. 建築主】

【氏名又は名称のフリガナ】

【氏名又は名称】

【郵便番号】

【住 所】

【電話番号】

【4. 設計者】

【資 格】 () 建築士 () 登録 号

【氏 名】

【建築士事務所名】 () 建築士事務所 () 知事登録第 号

【郵便番号】

【所 在 地】

【電話番号】

【5. 設計住宅性能評価を希望する性能表示事項】

別紙1による

【6. 長期使用構造等であることの確認の要否】 要 否**【7. 備 考】**

・工事着手予定年月日：

・認定申請予定年月日：

(建築物名称：)

建築物に関する事項

【1. 地名地番】

【2. 都市計画区域及び準都市計画区域の内外の別等】

- 都市計画区域内 (市街化区域 市街化調整区域 区域区分未設定)
 準都市計画区域内 都市計画区域 及び 準都市計画区域外

【3. 防火地域】 防火地域 準防火地域 指定なし【4. 敷地面積】 m^2 【5. 建て方】 一戸建ての住宅 共同住宅等【6. 建築面積】 m^2 【7. 延べ面積】 m^2

【8. 住戸の数】

【建物全体】 戸

【評価対象戸数】 戸

【9. 建築物の高さ等】

【最高の高さ】 m

【最高の軒の高さ】 m

【階数】 地上 (階)

地下 (階)

【構造】 一部

【10. 利用関係】

- 持家 賃家 給与住宅 分譲住宅

【11. その他必要な事項】

【12. 備考】

区分所有住宅の該当の有無

- 有 無

住戸に関する事項

【1. 番号】

【2. 階】 階

【3. 専用部分の床面積等】

【居室部分の面積】 m²

【バルコニー等専用使用部分の面積】 m²

【専用部分の床面積】 m²

【4. 当該住戸への経路】

【共用階段】 無 有

【共用廊下】 無 有

【エレベーター】 無 有

【5. 界壁・界床の有無】

【界壁の有無】 無 有

【界床の有無】 無 有 (上階 下階)

【6. その他必要な事項】

【7. 備考】

【地盤の液状化に関する情報提供】

- 地盤の液状化に関する情報提供を行う（情報提供の内容は申出書による）
- 地盤の液状化に関する情報提供を行わない

【設計住宅性能評価を希望する性能表示事項】

1. 構造の安定に関すること

- 1-2 耐震等級（構造躯体の損傷防止）
- 1-4 耐風等級（構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止）
- 1-5 耐積雪等級（構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止）

2. 火災時の安全に関すること

- 2-1 感知警報装置設置等級（自住戸火災時）
- 2-2 感知警報装置設置等級（他住戸火災時）
- 2-3 避難安全対策（他住戸等火災時・共用廊下）
- 2-4 脱出対策（火災時）
- 2-5 耐火等級（延焼のおそれのある部分（開口部））
- 2-6 耐火等級（延焼のおそれのある部分（開口部以外））
- 2-7 耐火等級（界壁及び界床）

6. 空気環境に関すること

- 6-1 ホルムアルデヒド対策（内装及び天井裏等）
- 6-2 換気対策

7. 光・視環境に関すること

- 7-1 単純開口率
- 7-2 方位別開口比

8. 音環境に関すること

- 8-1 重量床衝撃音対策
- 8-2 軽量床衝撃音対策
- 8-3 透過損失等級（界壁）
- 8-4 透過損失等級（外壁開口部）

9. 高齢者等への配慮に関すること

- 9-1 高齢者等配慮対策等級（専用部分）
- 9-2 高齢者等配慮対策等級（共用部分）

10. 防犯に関すること

- 10-1 開口部の侵入防止対策